

かんぽ生命保険

2014年(平成26年)3月期 第3四半期決算の概要について

株式会社かんぽ生命保険

2014年2月21日

かんぽ生命 第3四半期決算の概要(1)

当第3四半期の経営成績

(億円)

	2014/3期 第3四半期	2013/3期 第3四半期	増減
経常収益	84,016	89,695	△ 5,679
経常費用	80,725	85,665	△ 4,939
経常利益	3,290	4,030	△ 739
四半期純利益	413	775	△ 362

基礎利益	3,526	4,431	△ 904
危険差益	2,115	3,024	△ 908
費差益	1,083	1,539	△ 455
利差益	327	△ 132	+ 460

(万件)

個人保険 新契約	173	167	+ 6
----------	-----	-----	-----

	2014/3期 第3四半期	2013/3期 期末	増減
保有契約(簡易生命保険の保険契約を含む。)	3,548	3,681	△ 133

概要

- 郵便局との連携による営業推進態勢の強化により、個人保険の新契約件数は、173万件(前第3四半期比+6万件)を確保。
保有契約(簡易生命保険の保険契約を含む。)は、前期末比133万件減の3,548万件。
- 基礎利益については、保有契約の減少に伴う費差益の減少が進む中、利差益(逆ざや)の改善が進んだものの、今年度からの標準利率引下げ等による危険差益の減少により、前第3四半期比904億円減の3,526億円。
- 経常利益は、前第3四半期比739億円減の3,290億円。経常利益から特別損失、契約者配当準備金繰入額及び法人税等を差し引いた四半期純利益は、前第3四半期比362億円減の413億円。
- 危険準備金及び価格変動準備金を合計した内部留保額は、3兆1,951億円。
- 健全性の指標であるソルベンシー・マージン比率は、1,573.4%と引き続き高い健全性を維持。

注:「簡易生命保険の保険契約」は、独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構から受再している簡易生命保険の保険契約をいう。

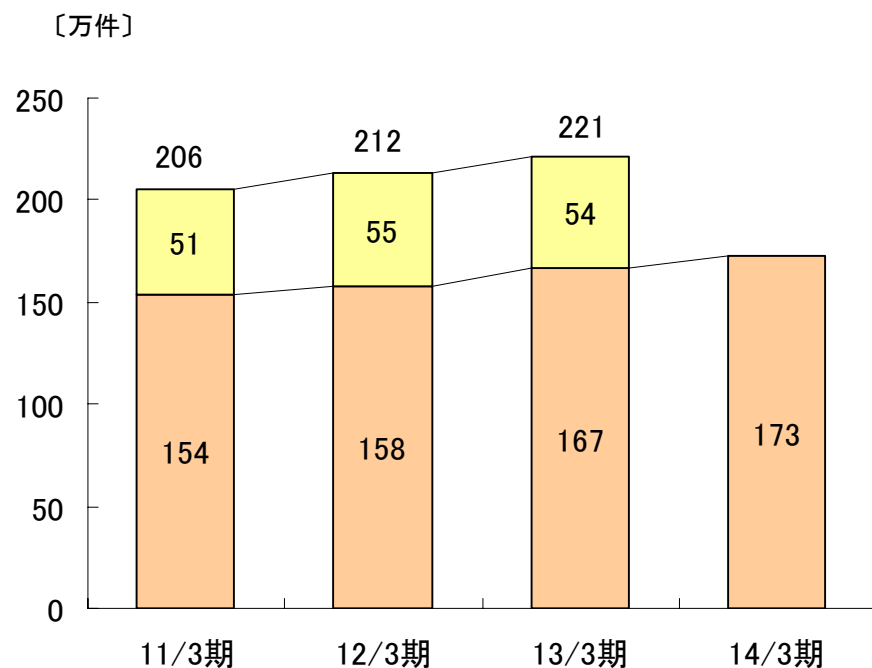
かんぽ生命 第3四半期決算の概要(2)

■ 郵便局との連携による営業推進態勢の強化により、当第3四半期の個人保険の新契約件数は、173万件(前年同期比+6万件)を確保。保有契約(簡易生命保険の保険契約を含む。)は、前期末比133万件減の3,548万件。

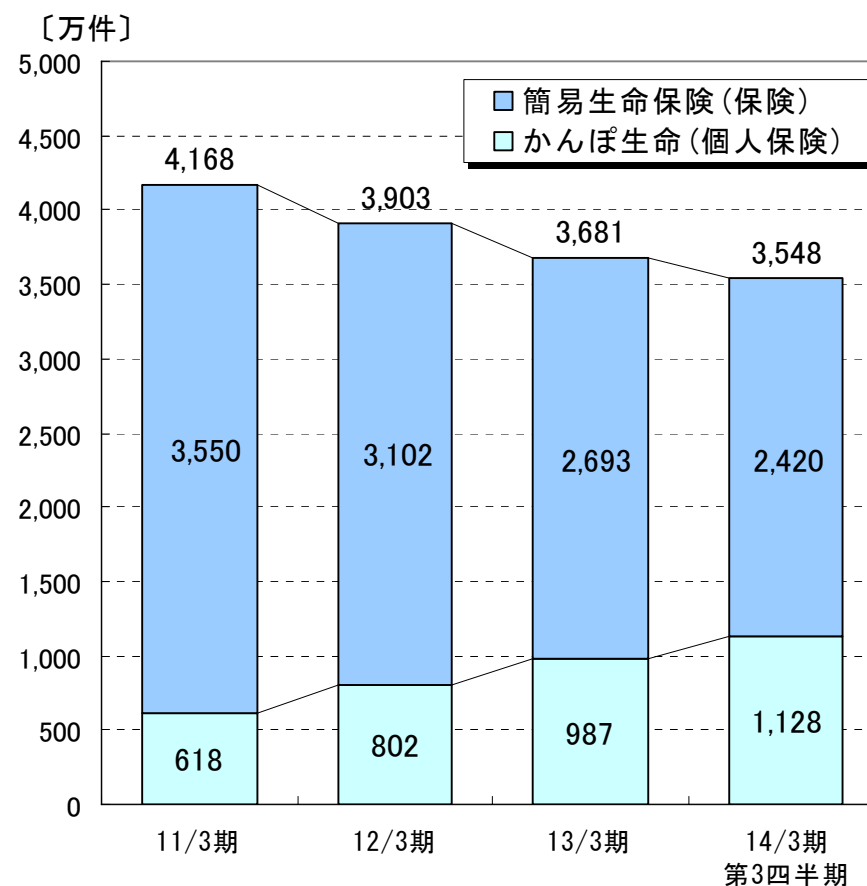
< 新契約の推移 >

個人保険(件数)

■ 4月～12月 ■ 1月～3月



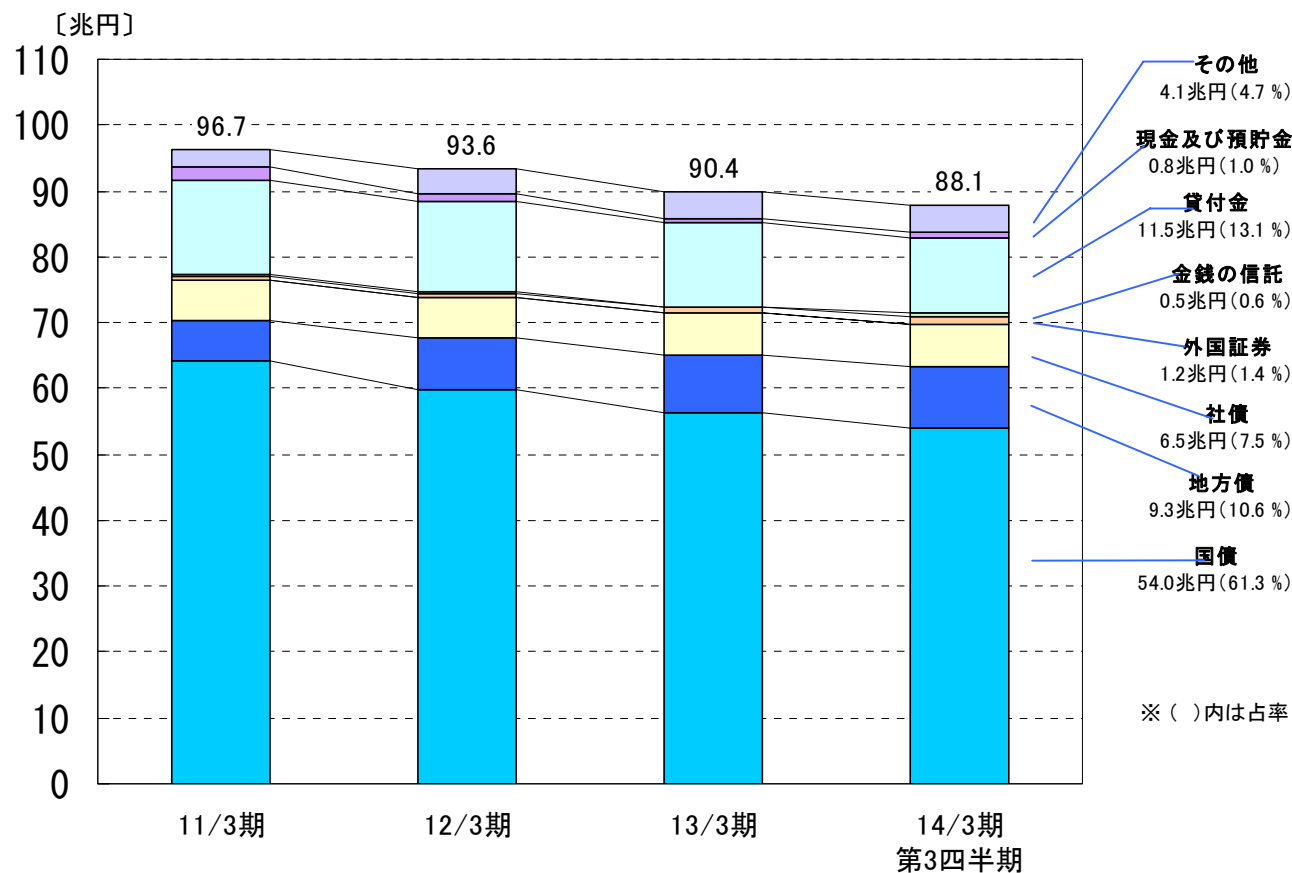
< 保有契約の推移 >



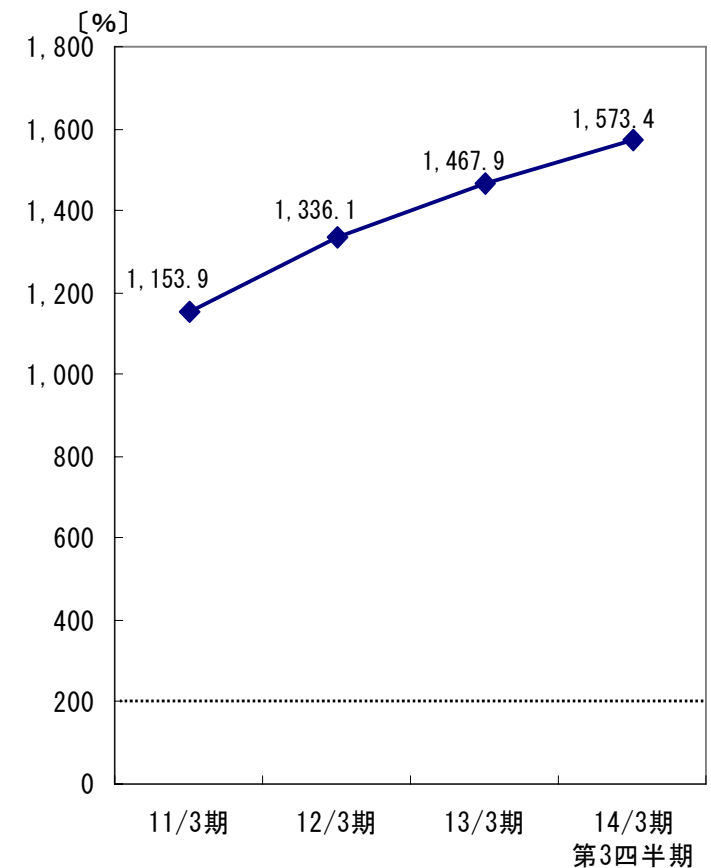
かんぽ生命 第3四半期決算の概要(3)

- 運用資産は、国債を中心とした有価証券が71兆円、貸付金が11兆円等。
- 健全性の指標であるソルベンシー・マージン比率は1,573.4%。

< 資産構成の推移 >



< ソルベンシー・マージン比率 >



(注) 2012年3月31日から適用された基準に基づく数値